

一学期 交わりに参加する生活

第2期(6月~8月)

期題「たのしい仲間」

- *自分以外にもすてきな仲間がたくさんいることを知る。
- *先生、動物、花、自然界(風、雲、星等)、季節の変化などとの関わりを通して自分で出来る事は自分ですることの楽しさを学んでいく。



クローク・・・衣替えになり、幼稚園児はTシャツへの着替えが増えたり、幼保ともに夏用遊び着のボタンを留めたりすることが加わりました。年少児にとっては遊び着の小さなボタンを留めることや、汗ばんだシャツを脱ぐことに苦戦する姿がみられました。また7月に入り水遊びが始まると、脱いだ服を丁寧にたたんだり重ねてきれいに置くなどの習慣が身に付いてきています。年中・長児は、お泊り保育での経験が自信となり、短時間で身支度を済ませようとする姿がみられています。夏期保育から履き始めた「ビーチサンダル」も始めはぎこちなく歩いていましたが、日を迫うごとに上手に履き、歩いています。鼻緒からの刺激は子どもたちの脳に良い刺激が与えられるようですので、是非この夏は鼻尾のあるサンダルで過ごしてみたいかですか？幼稚園児は長い夏休みに、保育園児は保護者の方のお休みにプールや海に出かけたり、汗で着替える機会も増えることと思います。引き続きご家庭でも丁寧に身支度したり、ビーチサンダルを履き慣らすなど、見守りながら温かな応援をお願いいたします。

絵のコーナー・・・進級から2ヶ月が経ち、年長、年中児は日々の体験や興味を持ったものを描けるようになってきました。楽しかったお泊まり保育の絵や、園で発見した虫など描く姿がみられています。なぐり描きが多かった年少児は大きい子の絵を真似したりしながら描いたり、自分でイメージしたものをどう絵にしたらいかが保育者と考えながら描いていけるようになりました。子どもたちの絵を飾ることで自信につながり、飾ってある絵や図鑑や本、生き物から刺激を受けている子どもたちです。今年は「これがイチバン」というテーマで「住友生命子ども絵画コンクール」に普段の4倍もある大きな画用紙にダイナミックに描き、出展しました。毎日描く絵が一段落したコーナーではクレヨンで描いた上から絵の具を塗り、はじき絵を楽しんだり、水性ペンで障子紙に模様をつけ、水でにじませるにじみ絵をして楽しみました。誕生児へのネックレス作りも思いを込めて丁寧に組み、自分で塗った花を切り、繋げていくことに挑戦するさくらさんの姿も見られるようになりました。また、線書きや迷路遊びを通して正しい鉛筆の持ち方、姿勢を身につけていきたいと思っています。今後も様々な素材を使って絵を描く楽しさを味わっていきましょう。



造形のコーナー・・・6月は新学期から2ヶ月、入園、進級した子どもたちも園生活に慣れ、更に自信を持って自分から「こんなものをつくりたい」とコーナーに足を運ぶ姿がたくさん見られました。虫歯予防デーにちなんで“自分だけの歯ブラシコップ作り”を楽しんだり、保育参加では親子一緒に作った世界にひとつしかない素敵な手作り時計が並びました。また七月の七夕参加では、思いを込めて作ったおかざりを大切に笹に飾っていただきました。これらの経験から自分でやってみようとする意欲を身につけて来た子どもたちは、日々自ら考え、様々な材料や道具を手に取り、イメージしたものを形にしていくことを楽しんでいます。しかし、時には一人ではまだまだ難しいことがあります。そんな時には「手伝ってあげる」と優しく小さい子を気遣ってくれる年長さんの姿があります。最近では、京けち染めをした和紙を切り紙し、夏祭りに向けてうちわを作っています。和紙をハサミで切ることやノリを使うことに苦戦しながらも完成したうちわを見て笑顔で喜ぶ子どもたちです。引き続きやることを通して、子どもたちの自信や意欲、思いやりを大切にしていきたいです。



ごっこコーナー・・・保育者や大きい友だちと一緒に遊ぶ中で新入児も段々と太陽の部屋での遊び方、物の貸し借りの仕方を理解し、少しずつ出来るようになってきました。また片付けも次に使う人のことを考え、丁寧にできるようになってきました。

6月に入るとすぐにお医者さんごっこや歯医者さんごっこが始まりました。内科検診や歯みがき集会を経験した子どもたちはそのイメージを持って楽しんでいます。白衣を着てお医者さん、エプロンをつけ看護師さんになりきっています。また人形を抱いてお母さんになりきり「お熱がでました」とこどものもり病院を診察する姿もみられています。お医者さん役や患者さん役にわかれ本物の病院にいるかのように役になりきる子どもたちです。今後も子どもたちのイメージを大切にしながら、コースや年齢を超えて遊びを発展させていられるように丁寧な関わりを持っていきたいと思っています。



表現のコーナー・・・保育参加で家族の方と大きなドミノを作り上げた子がいたことで、そこから三角、ハート、カタツムリやスイカなど様々なものをヒノキプレート積み木を使ってドミノに挑戦する子が多き、倒れても何度もやり直して完成させたり、友だちと一緒につなげて大きなドミノを作り上げる姿が見られています。また、園庭の木陰では小さい子から大きい子までみんなで輪になり盆踊りを楽しんでいます。和太鼓も踊りに合わせてたくさんの子がたたくのをたのしんでいましたので、盆踊りのリズムも伝えながら盛り上げていきました。プール遊びも始まり、入る前には準備体操として「ペンギンのプール体操」を踊って楽しんでいます。ペンギンのポーズがとてもかわいく、子どもたちに大人気！これからも色々な曲でダンスや演奏をしながら表現する楽しさを味わっていきましょう。



外あそびのコーナー・・・6月はルールのある遊び(転がしドッチボールや氷鬼)などが園庭で盛り上がり、コースや年齢関係なく遊ぶ姿も見られました。6月の後半にはシャボン玉が始まり、様々な素材(ストローやポイ、お花や泡だて器、うちわなど)を使って大小様々な大きさのシャボン玉を作っては、みんなで歓声を上げ楽しんでいました。何度も楽しんでいるうちに口で吹かなくても風があると自然とシャボン玉が出来ることを発見したり、しゃぼん液のついたものだったらシャボン玉をキャッチできる事などたくさん発見も楽しみました。7月になるとすみれさんは“できたよ！のーと”が始まり、鉄棒やうんていなどにチャレンジしています。頑張る姿を認め、自信につながっていきたくと思っています。そんな姿をみて、たんぼぼさんやさくらさんも一緒にうんていや鉄棒などに興味を持ってたくさん挑戦しています。



夏期保育では色水あそびが始まり、「〇色と〇色を混ぜたら〇色になった！」と色の変化を発見すること、それをジュースに見立ててのジュース屋さんなどを楽しんでいます。これからも子どもたちが興味を持って楽しめる遊びを用意していきたいと思っています。